

環境人材育成コンソーシアム（仮称）
について

中島 恵理
環境省総合環境政策局
環境教育推進室室長補佐

環境人材育成コンソーシアムの意義

従来型の経済社会システムからのパラダイムシフトにより21世紀型の持続可能な新しい社会構造への転換が要求されている時代

社会が求める人材

起業家精神豊かな人材 高度な専門性を有する人材（特に技術と経営）
経済と地球環境の持続可能性を追求する社会変革（攻めのSR）をもたらす人材

<p>社会の側の短期的ニーズ 環境を企業・事業戦略に内在化できる経営層（大企業及び中小の経営者・中堅層）（少数のリーダー層から中堅層）</p>	<p>社会の側の中長期的ニーズ 高い専門性を持ちながら環境経営のマインド・知見を有する人材の確保（裾野の広い一般層も含む）</p>
---	---

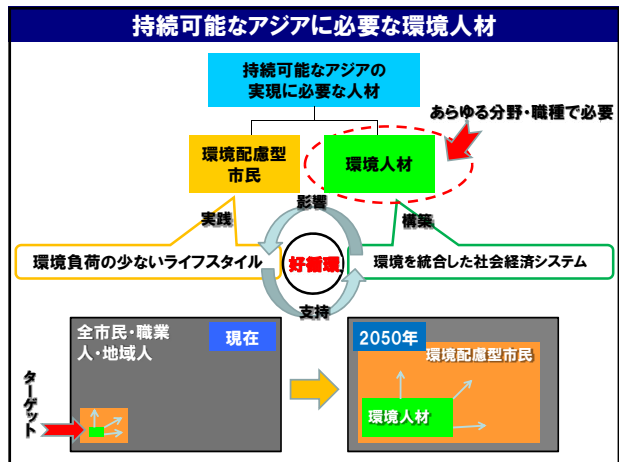
○「環境」を経営・事業戦略に積極的に統合する強い動機を有し高い専門性とリーダーシップを育成するサポート体制の必要性（人材のグリーン化＝“自発的に変わる”きっかけの場づくり）

産学官民すべてのステークホルダーのためのコンソーシアム

環境人材を実際に育成する場である大学

環境人材の受け入れとともに育てるニーズをも持つ
企業・行政・NGO等

コンソーシアムがターゲットとする環境人材について



環境人材に求められる3大要素

環境人材

強い意欲

専門性

リーダーシップ

- ・ 経済社会活動に環境保全を統合する構想・企画力
- ・ 関係者を説得・合意形成し、組織を動かす力
- ・ ビジネス、政策、技術等を環境、経済、社会の観点から多面的にとらえる俯瞰的な視野
- ・ 環境以外の分野（法律、経営、技術等）の専門性
- ・ 専門性と環境との関係を理解し、環境保全のために専門性を発揮する力
- ・ 持続可能な社会づくりの複雑さ・多面性を理解しつつ、それに取り組む強い意欲

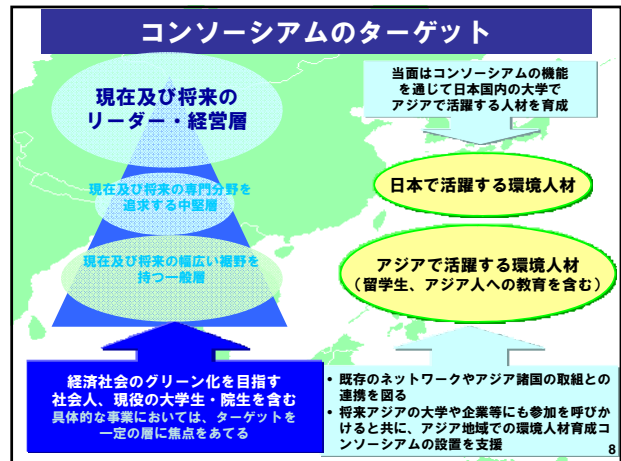
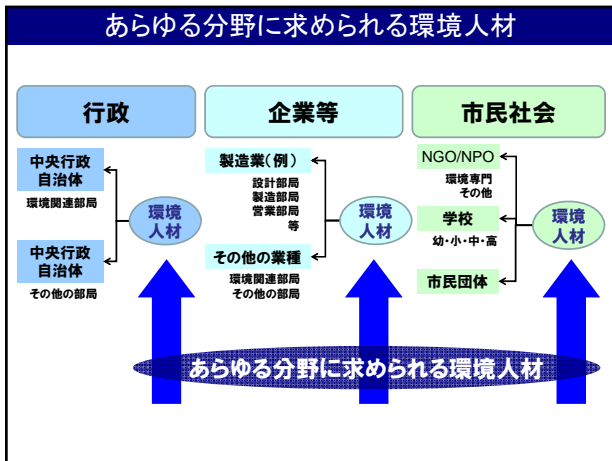
大学・大学院は3大要素を統合して学ぶことが可能

環境人材＝T字型の能力を有する人材

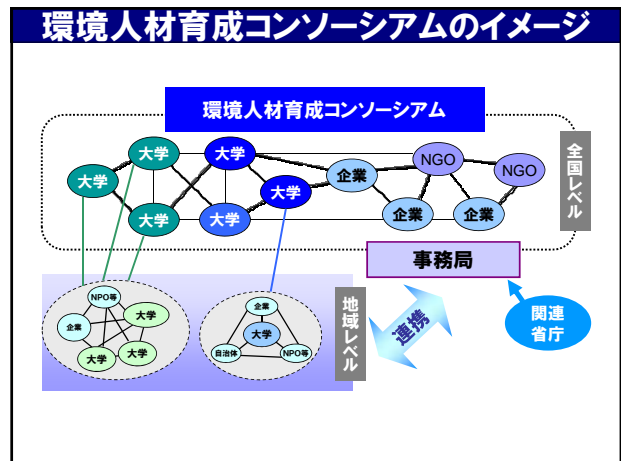
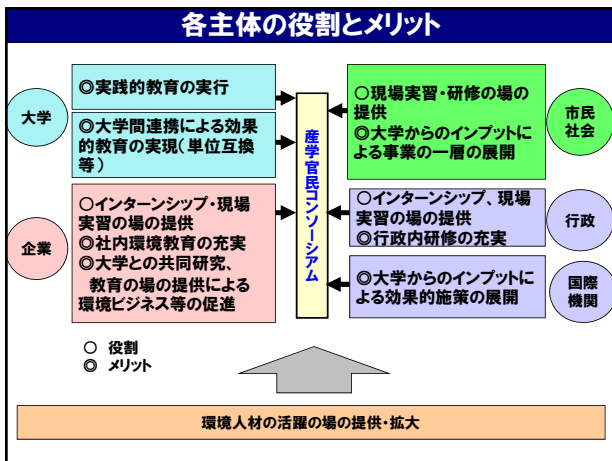
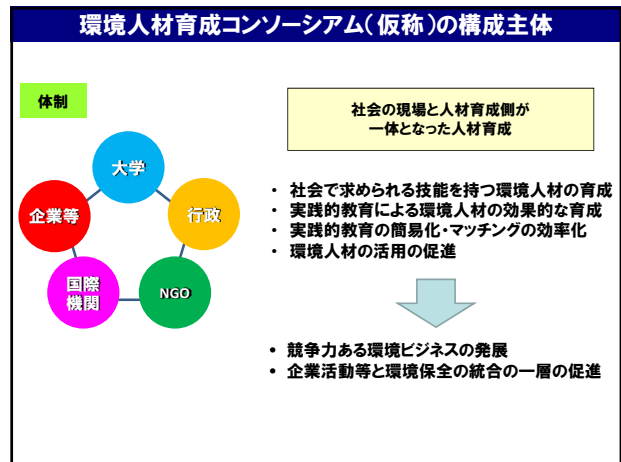
環境保全についての分野横断的な知見
— 俯瞰力・鳥瞰的視点を持つ

自らの専門性と環境の関係の理解

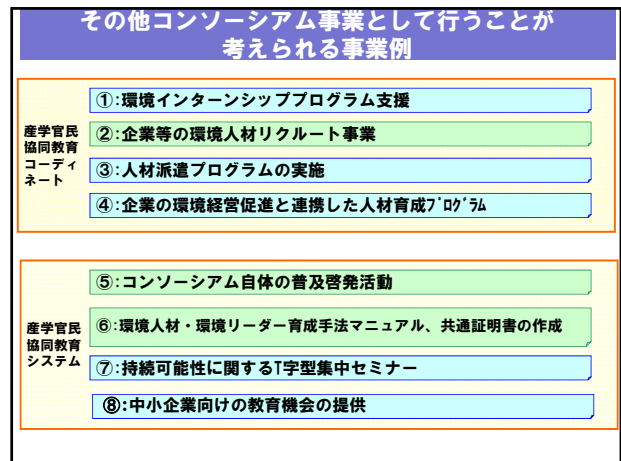
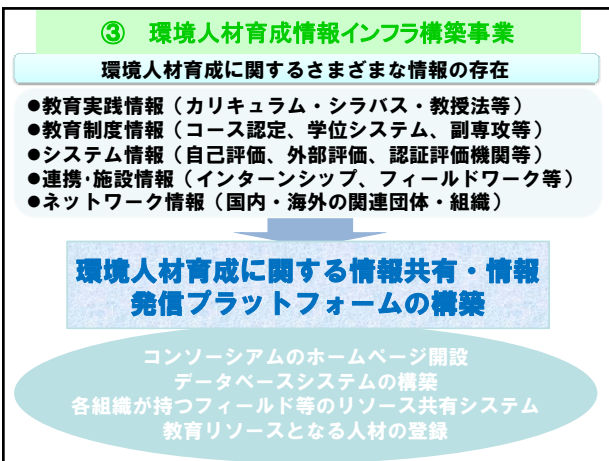
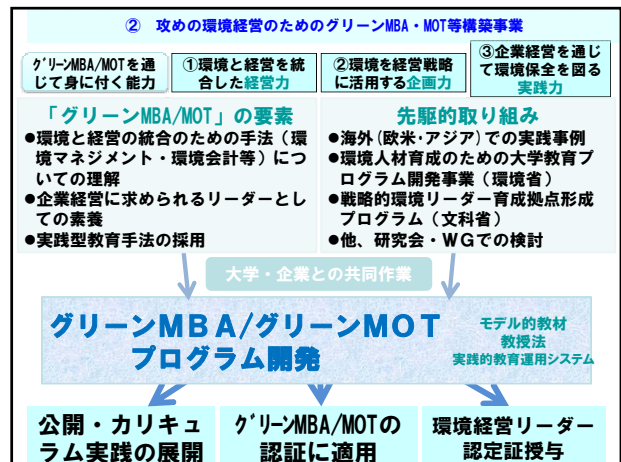
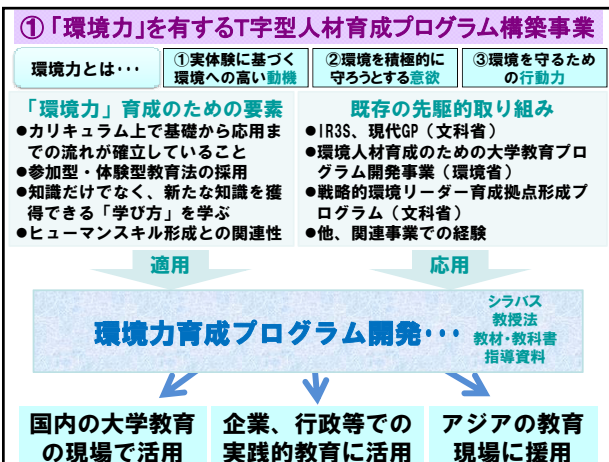
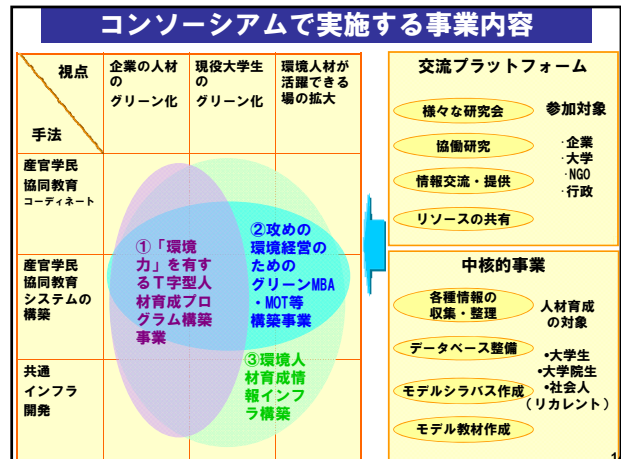
専門性を十分に身につける
— 法学、経済学、技術等

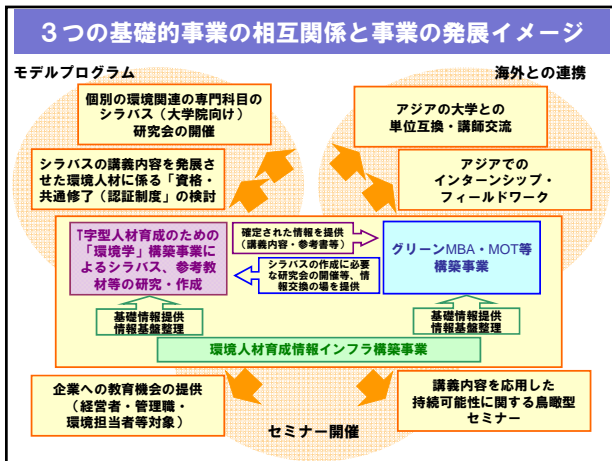


2. 産官学民連携のプラットフォームとしてのコンソーシアム



3. コンソーシアムの事業内容案





4. コンソーシアムの組織について

